学校番号	1101

令和２年度　書道科

教科	書道	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書道Ⅲ　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰ・書道Ⅱの学習をより深め、日常の中で書がどのように生かされているかを考えさせる

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。	創造的に書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけ表している。	文字や書の伝統と文化について、幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	作品への取り組み方 提出作品 準備の心構え 後かたずけ 鑑賞活動	ワークシート 作品への取り組み方 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	漢字の書	・篆書を学ぼう 「散　氏　盤」さんしはん 「天発神讖碑」てんぱつしんしんひ 「中山王譽方壺」 ちゅうざんおうさくほうこ	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○		a:古典の表現技法に関心をもち、その美しさを味わおうとしている b:古典の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している c:古典の用筆、運筆の技法を習得し表現に生かしている	・学習活動の様子 ・創作の様子 ・作品
		・隷書を学ぼう 「礼　器　碑」 「敦煌漢簡」 「題昔邪之炉廬壁上」 だいせきやしろへきじょう	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○		a:古典の表現技法に関心をもち、その美しさを味わおうとしている b:古典の特徴を理解し、字形や書風を捉え、表現を工夫している c:古典の用筆、運筆の技法を習得し表現に生かしている	同上
		・行書、草書を学ぼう 「喪乱帖」 「温泉銘」 「臨河序」	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○		a: b:　同上 c:	同上
後期		・楷書を学ぼう 「楷書前後出師表巻」 「高貞碑」 ・漢詩を作品にしよう	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a: b:　同上 c: d:漢詩のすばらしさを理解し、自分の好きな書体で作品づくりに取り組む	同上
	仮名の書	・仮名を学ぼう 「本阿弥切古今和歌集」 「弁　色　紙」 「曼殊院本古今和歌集」 「一条摂政集」	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○		a: b:　同上 c:	同上

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。